

希望に満ちた新しい年をお迎えのこととお喜びを申し上げます

## 正月とは一に止まって、将来の自分の姿を思い描き、努力を始める月

正月の〈正〉という字、昔の漢和辞典では〈止〉というへんで引いたそうです。〈正〉というの、「一に止まる」ということ。

「一を守る」それが〈正〉。それでは一とは何でしょう？

一とは原点、一とは自分。自分が人間としての原点に止まることが〈正〉。原点を守ることが〈正〉。そして、自分が自分に立ち返る月が正月。自分が自分になる月が正月です。それは、自分が人間としての、本来の自分になること。…中略…

昨年してきたことの過ち、失敗を反省し、同じことを繰り返さないように、自分の原点に立ち帰って、自分の生き方の軌道修正をする月とのことです。 一生感動 一生青春 相田みつを著より

かけがえのない自分を見つめる月、自分自身の将来に思いを寄せる月、自己実現に向け努力を始める今月から始まる3学期も、全職員一丸となって、大切なお子様の健やかな成長を支える教育活動を推進します。これまで同様、ご理解とご協力をお願いします。



僕は、今日からの3学期を1年生の締めくくりと2年生への準備期間として、意味のある毎日になりたいと思います。

そのために、まず、身なりを整え、進んで明るいあいさつができるさわやか明中生らしい生活をします。 中略

学級の課題であるけじめをつけることを意識し、残り少ない1組のみんなとの生活を大切しながら、新1年生の手本となる2年生への準備をします。

1年 村田くん

職場体験で、自分から動くことの大切さを知りました。待っているは何も変わらないし、誰もやってはくれない。自分から動くことで何かが変わり、人の役に立てることを学びました。私は、そのことを生かし、後期級長に立候補しました。 中略

3学期は、これまでに学んだことを生かし、最高の学級になるよう行動したいです。また、立志の会ではさらに成長できるよう進んで行動したいです。

2年 神谷さん

3年生にとって中学校生活最後となる3学期を、明中の伝統を後輩に引き継ぐ学期にするため、後輩の手本になれるように、当たり前のことを当たり前にするのを意識したいと思います。具体的には、あいさつや、時間を守ること、掃除をすることなどです。 中略

また、級長として、笑顔で卒業することができる学級にするため、みんなをまとめ、リードしたいと思います。

3年 横山くん

ちぎり絵展 鶴田裕子さん主宰 優美会のみなさん 1月7日～24日 8:30～16:00

色とりどりに染められた和紙をちぎって貼る、根気のいる手作業によって制作された絵画です。

作者が伝えたかったことは何かを考えながら鑑賞しましょう。



次回の催し	創作アップリケ展	上田章子様 (碧南市)	1月28日～2月14日
今年度最後の催し	絵画・工芸作品展	江坂立美様 (東端町)	2月18日～3月14日